

2021
Vol.26

九大別府病院 だより

Kyushu University
Beppu Hospital



当院敷地内 タイサンボクの花(2021年6月撮影)

病院の理念・基本方針

理 念

患者さんに満足され、医療人も満足する医療の実現を目指します。

基本方針

- ◆ 広域医療圏拠点としての連携体制の構築
- ◆ 高度先進医療を支える医学研究の推進
- ◆ 全人的医療を実践する医療人の養成
- ◆ 小児から高齢者まで包括する移行期医療の充実
- ◆ 国際化の推進

患者さんの権利と責務

私どもは患者さんの権利を守り、病院の理念に基づいた、公平で良質な医療を提供することを目指します。

九州大学病院別府病院90周年事業について	2
地域医療連携室長のご挨拶	3
地域医療連携室よりお知らせ	3
内科(リウマチ・膠原病、がん・腫瘍・循環器)は初診の際に予約が必要!	
シリーズ診療科特集 第3回	4
外科「2021年度外科の5つの特色について」	
新任医師の紹介	6
外来診療案内等	8



九州大学病院別府病院
Kyushu University Beppu Hospital



90th

九州大学病院別府病院 90周年事業

九州大学病院別府病院は、1931(昭和6)年に九州帝国大学温泉治療学研究所として開設されて以来、今年の10月で創立90周年を迎えます。温泉治療学研究所は、わが国の大学において最初となる温泉治療に関する研究機関で、一大温泉地帯である別府市の地の利を活かした温泉治療学やリハビリテーション学の先駆者として大きな役割を果たして参りました。

現在は、九州大学病院の分院として、内科・外科・整形外科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科の6診療科を標榜し、当院の強みである専門領域(関節リウマチや膠原病、固形癌や血液疾患、脊椎・脊髄疾患、高精度放射線治療など)を軸とした高度な医療を提供すると共に、難病の合併症としての慢性疼痛・身体機能低下等に対して創立以来の長い経験のある温泉・リハビリ療法を積極的に行うことで、患者さんに寄り添った優しい医療を推進しているところです。

これまで当院は地域社会に根差した医療機関として、地域と積極的に連携をとって参りました。近年では、別府市の地域再生計画(生涯活躍のまち形成事業：2016年度内閣総理大臣認定)において、当院は中核施設として位置付けられており、今後も地域と連携を密にし、市民の健康増進や地域における交流の促進など地域社会の活性化に貢献していく所存です。

また、当院では、大学病院として高度な医療を提供し地域の医療機関としてさらに発展を遂げていくため、病院の再開発事業計画を進めております。再開発事業の柱である新病院の建設は、2024年に完了する予定であり、地域社会が必要とする時代に応じた医療の提供など病院機能の更なる強化・拡充を図っていくものとなっております。

この度、これまでの当院の長い歴史を振り返り、またこれから当院が地域の皆様方と共に発展していくよう別府病院90周年事業を実施することになりました。当該事業では、記念誌の発行や講演会を計画しています。講演会では、当院の創立当初から現在までの歴史や、これからの新病院開院等当院の未来を見据えたものを予定しております。新型コロナウイルス感染症が終息し、無事に講演会が開催できることを祈っております。

今後も地域の皆様方に必要とされる医療機関となれるよう日々努力して参りますので、ご指導いただくと幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。



温泉治療学研究所 本館玄関前 1941(昭和16)年

地域医療連携室長 就任のご挨拶

三森 功士



皆様、このたび堀内孝彦病院長より地域医療連携室長を拝命いたしました三森功士です。外科責任者との併任となりますが、2021年3月まで10年間室長をお務めになられた放射線科長 平川雅和先生に代わりまして2021年4月より着任させていただきます、よろしくお願い申し上げます。前室長平川先生は当院と地域内の医療機関との連携を推進され双方向で効率的な医療サービスを展開していくシステムの構築にご尽力され、近年の診療実績向上において大きな役割を果たされました。この成果をしっかりと引き継いで参りたいと存じます。

さて、新型コロナウイルスによる感染状況は厳しく、幾たびの緊急事態宣言や三密回避などの個々の努力も空しく、先が見通せない日々が続いております。その一方でコロナ感染以外の日常診療は待たなしで続いて参りますが、患者さんやご家族と医療スタッフ、あるいは地域の先生方と病院とは、『緊密な連携』なしでは絶対に成り立ちません。感染予防を徹底しながら『連携』を密にしていって対応が求められ、船出からなかなか難しい舵取りとなりました。しかし、ピンチはチャンスであり、たとえば今後益々増加するオンライン会合の機会を旨く活用して参りたいと存じます。具体的には、セーブした移動時間の活用、遠方を含め新たな連携先の発掘、あるいは(動画を含め)画面上で供覧可能な資料の充実などポジティブに捉えることができる面もあり、なんとかこの難局を乗り切る所存です。

小生、浅学非才の身ではございますが、お世話になっている先生方との当院との連携の更なる強化と発展のために一生懸命努力をさせていただく所存ですので、今後とも地域医療連携室を引き続きご愛顧のほどよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室よりお知らせ

内科 リウマチ・膠原病、がん・腫瘍、循環器

初診患者さんの外来予約制について

本年1月より内科(リウマチ・膠原病、がん・腫瘍、循環器)では新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から外来待合室の混雑回避を目的に、また待ち時間短縮の利点からはじめて外来受診をされる方は予約制となっております。

紹介状(診療情報提供書)は必須ではありませんが、かかりつけ医がある場合には、できる限り紹介状を持参していただく方がスムーズに診察をお受けいただくことができます。

「はじめて受診をされる方」は地域医療連携室までご連絡のうえ、事前に受診予約をお取りしてください。ご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

診療曜日・時間

内科	リウマチ・膠原病
	曜日 月・水・金
	時間 9時
がん・腫瘍	曜日 月・金
	時間 9時
循環器	曜日 月・火・金
	時間 9時～12時

受診予約専用ダイヤル 地域医療連携室 ☎0977-27-2055 ※受付／8時30分～17時(土日・祝日を除く)

2021年度 九州大学病院別府病院 外科の5つの特色について

外科 三森 功士

世界はCOVID-19感染がパンデミックとなり未曾有の事態に陥っております。罹患された方とご家族・関係者の皆様に謹んでお見舞い申し上げます。また関係の方におかれましては診療ならびに感染拡大防止への日々のご労苦に感謝を申し上げます。変異株の出現により先の見通せない状況は続くことかと存じますが、われわれとしては堀内病院長の強いリーダーシップの下で一致団結し最善を尽くしつつ一刻も早い終息を願うばかりです。

さて、私ども外科における2020年度手術症例数は501例(手術室354例)でありこれまでで最も多い症例数でございました。ひとえに当科を

信頼いただいた患者さんや、ご紹介いただいた(開業の)先生方のおかげであることを承知しており、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。

九州大学別府病院外科では、昨年度頑張ってくれた**武石一樹**、**大津甫**に代わり、九州大学本院より**戸島剛男**(2005年卒)、**久松雄一**(2004年卒)の消化器手術のエキスパート2名が加わり新体制となりました。今年度は、**三森功士**(責任者・地域医療連携室長兼務)、**増田隆明**(乳腺)、**米村祐輔**(病棟医長)、**戸島剛男**(医局長)、**久松雄一**(外来医長)の5名です。以下、診療内容の特色について5つにお纏めましたのでご紹介いたします。

特色1 二次健診から手術までスピーディな患者本位の診療

当科は院内における「消化器内科」的な役割も担っております。**米村祐輔**と**久松雄一**が**下部内視鏡検査**を行いますので二次健診の段階でもご紹介いただけます。**何らかの腹部症状**でのご紹介、**二次健診目的、手術に到るまで**お任せください。また、ご紹介いただいてから手術日に到るまでの時間は、患者さん・ご家族共に肉体的・精神的苦痛に苛まれます。当科ではその様な思いに寄り添い悪性疾患の待機手術の場合、紹介日から**概ね2~3週以内**に**実施**しております(**緊急手術**も対応可能です)。良性疾患も1ヶ月以内です。ぜひご連絡ください!

病棟では**阿部寿美子**看護師長を中心に看護師、薬剤師、理学療法士、管理栄養士、メディカルソーシャルワーカー、医師でチームを組み、患者さん一人一人の痛みや苦しみに寄り添い、笑顔で親身な診療を行います。



特色2 肝胆膵疾患は検査も手術もおまかせください！

米村祐輔は消化器外科、特に腹腔鏡手術の経験が豊富で、一般的に高難度の検査であるERCPやPTCDの技術には高い評価をいただいております、これまで他院にお願ひしなければならなかった総胆管結石や急性期の黄疸などの疾患にも対応いたします。戸島剛男は、別府市唯一の肝胆膵外科学会高度技能専門医であり、昨年度まで本院でのスタッフとして肝移植や肝胆膵外科を支えていたメンバーで経験豊富です。高難度手術が必要とされるため他院でお

断りされた肝胆膵疾患の症例でも安全に手術を行うことができます。通常の肝胆膵外科手術のみならず、一般的に外科治療が困難とされる肝硬変に対する肝移植手術に関しても、豊富な手術経験も踏まえて適応をしっかりと見定めた上で本院にご紹介いたします。昨年度は2名の末期肝硬変患者さんが肝移植手術で救命できました。戸島剛男はその知識と技術と経験で患者さんご家族様そしてご紹介いただく先生の御期待にしっかりとお応えします。

特色3 徹底した低侵襲にこだわった鏡視下手術

現在は消化器癌症例の約8割は腹腔鏡で施行しており、昨年度は最新の腹腔鏡下手術システムを導入しております。単孔式手術も導入しており、虫垂切除術、胆嚢摘出術、回盲部切除術

などに実施しており、適応を拡大する予定です。久松雄一は本院では消化管チームの主要メンバーであり、当院では消化管のチーフとして整容性と手術侵襲の逡減に大きく貢献しています。

特色4 乳腺治療もおまかせください！

先生方のご紹介のおかげで年間100例を超える手術数があり、大分県内でも有数の乳房疾患治療施設になっております。乳がんに対しては、当院腫瘍内科、放射線科と協力しながら、ホルモン療法や化学療法、手術を組み合わせた

集学的治療を行っております。さらに昨年度より本院形成外科との共同で乳房再建術も積極的に行っております。乳房疾患でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひ増田隆明までご紹介ください。

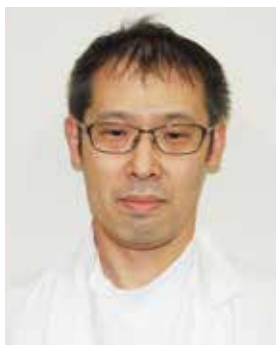
特色5 本院のクオリティを別府で

昨年度から本院(九州大学第二外科)のスタッフが加わった上に、症例検討会を毎週オンラインで開催しており、九大本院と同等の診療

クオリティを別府で実践し展開しております。今後もより信頼される診療をご提供させていただきたいと存じます。

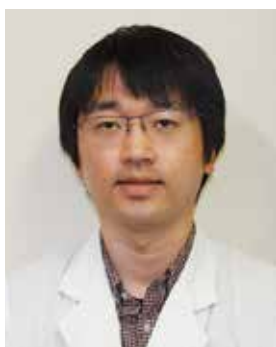
微力ではございますが、私どもは『診断や治療で何かとお困りの折に、お力になること』を最も大切にしております。何かお悩みのこと、ご質問等ございましたら、何でもお気軽にお問い合わせ下さい。それでは当院外科を今年度も宜しくお願い申し上げます。

内 科



山崎 聡 (やまさき さとし)

2021年4月から内科講師として赴任させていただきました山崎 聡と申します。3月まで国立病院機構九州医療センター血液内科医長をつとめさせていただきました。九州医療センター在職中におきましては、ひとかたならずお世話になり厚く御礼申し上げます。微力ではございますが、引き続き患者さんの声を直接聞かさせていただくとともに、九州医療センター在職中に非常に苦勞いたしました個々の患者さん及びご家族のケアと福祉に対する社会ニーズに添った真摯な対応を継続させていただき、治療成績の向上や新規治療開発に少しでも貢献できるよう日々精進して参ります。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



柏戸 佑介 (かしわど ゆうすけ)

2021年4月から九州大学病院別府病院内科に医員として赴任しました柏戸佑介と申します。

2011(平成23)年に愛媛大学を卒業し、松山赤十字病院、株式会社麻生飯塚病院で研修を積んだ後、2015年にも1年間別府病院で研修させていただきました。4年間の大学院を経て、2020年度は九州大学病院 免疫膠原病感染症内科で医員をしておりましたが、本年度から再び別府病院への赴任となりました。

引き続き関節リウマチを含めた膠原病の診療を担当させていただきます。それぞれの患者さんの状態に合わせて、なるべく良い状態で過ごしていただけるよう治療調整をさせていただくつもりですので、よろしくお願い申し上げます。

放射線科



平木 嘉樹 (ひらき よしき)

2021年4月より放射線科医員として赴任いたしました平木嘉樹と申します。

2015(平成27)年に鹿児島大学を卒業後、北九州市立医療センターおよび九州大学病院で初期臨床研修を行い、2017年に九州大学放射線科に入局しました。九州がんセンター、佐賀県医療センター好生館、北九州市立医療センター、九州大学病院にて画像診断・血管内治療および専門としております放射線治療について経験を積んで参りました。患者さんの治療や研究を通じて地域医療に貢献できればと考えております。よろしくお願いいたします。

外科



戸島 剛男（としま たけお）

2021年4月より九州大学病院肝臓・脾臓・門脈・肝移植外科より当院外科に赴任いたしました戸島剛男と申します。

2005(平成17)年に九州大学を卒業し、九州大学病院、松山赤十字病院等で勤務後に米国ベ일러大学にて癌研究に従事し、同じく米国マウントサイナイ病院移植外科にて肝移植手術のトレーニングを受けました。昨年は、九州大学病院で肝胆膵外科・肝移植外科の外科治療、薬物治療の臨床に従事していました。

専門は、消化器外科、特に肝胆膵外科です。日本外科学会専門医、消化器外科学会専門医、肝胆膵外科学会高度技能専門医、日本移植学会移植認定医、肝臓学会専門医等を取得しております。空手で培った忍耐の精神をもとに根気強く外科治療を行なっていきたいと思います。

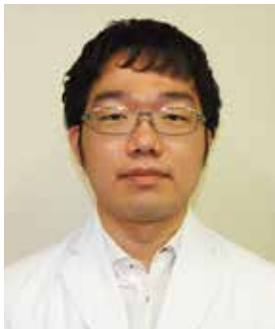
別府市唯一の肝胆膵外科高度技能医として、当院で外科に関わる患者さんが質の高い治療を受けられるよう当院スタッフ一同協力し、最善の治療ができるよう取り組んでまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



久松 雄一（ひさまつ ゆういち）

本年4月から九州大学病院別府病院外科に赴任いたしました。出身は長崎県西彼杵郡長与町で、すごく雰囲気のいい田舎です。2004(平成16)年に防衛医科大学校を卒業したのち、陸上自衛隊北部方面衛生隊野外病院隊の班長の勤務を経て、2008年8月に九州大学大学院消化器・総合外科に入局しました。大分県立病院や済生会唐津病院で勤務歴があり、消化器外科専門医および乳腺専門医を取得しました。昨年度は九州大学病院消化器・総合外科で消化管外科の診療に携わっておりました。本年度は別府で運動・体づくりにも取り組み、身も心もさらに引き締めていこうと思っています。

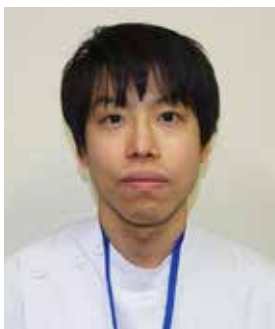
他職種の方々のお力を借りながら患者さんに寄り添った医療を提供できるように努力しますので、どうぞよろしくお願いいたします。



大里 祐樹（おおざと ゆうき）

2014(平成26)年に金沢大学医薬保健学域医学類を卒業後、2019年大阪労災病院・外科レジデントを経て大阪大学大学院医学系研究科外科系臨床医学専攻に帰属しました。2019年10月より九州大学別府病院外科に国内留学をしており、三森教授の下、がんと間質との関連を明らかにする事で新たな治療ターゲットの発見を志しています。2021年4月からは臨床・研究を両立させる事で、患者さんの為の治療に貢献したいと考えています。

整形外科



小西 俊己（こにし としき）

2021年4月より整形外科医員として赴任しました、小西 俊己 と申します。出身は、長崎県佐世保市で福岡県で育ちました。2016(平成28)年に九州大学医学部卒業後、済生会八幡総合病院、九州医療センター、福岡市立こども病院、九州大学病院で診療に従事して参りました。本年度は脊椎疾患を担当させていただきます。これまでの経験を生かして、患者様に寄り添い、お役に立てるよう邁進してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

九州大学病院別府病院 外来診療案内

2021年6月1日現在

科名	外来診療区分	月	火	水	木	金
内科	リウマチ・膠原病 (新患予約制)	堀内孝彦 木本泰孝 日浦惇貴	堀内孝彦(再来) 日浦惇貴(再来)	木本泰孝 柏戸佑介	病棟回診日	堀内孝彦(再来) 木本泰孝 柏戸佑介
	血液病		山崎聡	山崎聡		山崎聡
	がん・腫瘍 (新患予約制)	奥村祐太	奥村祐太(再来)			奥村祐太
	慢性疼痛	前田豊樹	前田豊樹		前田豊樹(再来)	
	骨粗鬆症	前田豊樹	前田豊樹		前田豊樹(再来)	
	循環器病一般 心不全・肺高血圧外来 血管疾患外来 睡眠時無呼吸外来 難治性高脂血症外来 (新患予約制)	得能智武	得能智武 午後 心血管カテーテル 検査・治療日		病棟回診日 午後 心血管カテーテル 検査・治療日 (予備日)	得能智武
外科	一般消化管門	三森功士 米村祐輔 久松雄一	三森功士 手術日	三森功士 久松雄一 戸島剛男	三森功士 手術日	三森功士 米村祐輔 戸島剛男
	肝・胆・膵	米村祐輔	手術日	戸島剛男	手術日	米村祐輔 戸島剛男
	乳腺	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明	三森功士 手術日	三森功士 増田隆明
整形外科 (脊椎脊髄)	脊椎外科 (完全予約制)	手術日	熊丸浩仁 齋藤武恭 吉崎真吾 小西俊己	手術日	播谷勝三 齋藤武恭 吉崎真吾 小西俊己	播谷勝三 熊丸浩仁 小西俊己
放射線科	放射線治療	本村有史	本村有史		本村有史	
	放射線画像診断	平川雅和	坂本勝美	平川雅和	平川雅和	平川雅和
共通	上部消化器内視鏡	米村／久松	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	米村／久松
	下部消化器内視鏡	米村／坂本	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	米村／坂本
	EMR / ESD	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美	坂本勝美
	ERC P					
	セカンドオピニオン	要 予 約				

※担当医は変更となる場合がありますのでご了承ください。

受付時間 初診 8:30~11:00

再来 8:30~12:00 (予約の方は除く)

地域医療連携室へ
お電話ください

●整形外科…完全予約制

●内科：リウマチ・膠原病、がん・腫瘍および循環器…新患予約制

●放射線治療…初診8:30~11:00

※但し土日、祝日は休診(急患は除く) 代表電話0977-27-1600 地域医療連携室：フリーダイヤル 0120-272-518 直通：0977-27-2055

地域医療
連携室より

問合せ先
ご案内

◆CT・MR・骨密度・内視鏡検査のご依頼

放射線科受付 0977-27-1722(直通)

- ・検査依頼は、電話にて受け付けております。依頼検査優先時間帯を設けています。
- ・結果は、CDデータ・報告書とともに、ご依頼いただきました先生方へ迅速にお返事いたします。

◆放射線治療のご依頼

地域医療連携室 0120-272-518(専用)
0977-27-2055

- ・乳癌、食道癌、肺癌、前立腺癌、悪性リンパ腫、癌性疼痛に対する緩和治療、その他の悪性腫瘍についてはご相談ください。
- ・放射線治療の診療は、事前に連絡をいただければ、持ち時間が少なくなるよう配慮させていただきます。

その他、外来・入院に関する
お問い合わせ

月～金 8:30~17:00 ☎0120-272-518(専用)

TEL: 0977-27-2055(直通) FAX: 0977-27-3008(24時間受信可)

九大別府病院だより Vol.26



九州大学病院別府病院

Kyushu University Beppu Hospital

〒874-0838 別府市大字鶴見字鶴見原4546番地

代表 TEL 0977-27-1600

URL <https://www.beppu.kyushu-u.ac.jp/>